啓伸塾便り

１０月（神無月）
October

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中

勉強にハマりこむ正しい勉強法

前回、ここで、ゲームのように勉強にハマることについてお話ししました。今回は、どうすれば勉強にハマりこめるか、そして、それがテストの点数にどうして、結びつくか、について、お話しします。

勉強にハマりこむ大きなきっかけは、「自分でできた経験（達成経験）」をつくることです。

達成経験とは、教えてもらって納得したら、今度は自分できるか、やってみないと、その経験を積み上げることはできません。

多くの子は、教えてもらったら、それで満足してしまい、自分ひとりでできると勘違いしてしまいます。

納得して、できると思ったら、「本当に、自分一人でできるか」を疑ってみることです。自分をそんなに信用してはいけません。

自分一人でできた経験を積まないと達成感は味わえません。結果的に脳内ホルモンは出ないということになります。これでは、勉強にハマりこむことはできません。

すぐにやってみなくてもいいのです。次の日でもいいです。頭の片すみに「できるか?自分一人で、できるか?」と常に考えるようにしてください。軽くで、いいです。なんとなくで、いいです。人間の頭は素晴らしい能力を持っています。

自分で意識しなくても、自分の頭は勝手に復習しています。特に睡眠中は、潜在意識にあることを無意識に再現しています。

無意識に復習しているということです。だから、翌日、すぐにやってみることです。できたのなら、その問題はクリアしたことになります。

こうなれば、「気持ちいい!」という達成経験を積み上げたことになります。脳内ホルモンが出て、勉強にハマりこみます。

しかし、一人でできるようになるためには、痛みを伴います。その痛みとは、考えるということです。「なるほど、わかった!」と納得できるまで、考えることです。

考えるとは、手も動かさずじっと頭の中だけで、考えることではありません。紙に問題の数字を書き出したり、問題文の内容を、表、図で表してみることです。そうすると理解しやすくなり、少しの痛みだけで、納得できるようになります。

テストで点を取っている子の問題用紙は、考えやすくするために多くの書き込みがしてあります。

つまり、ジタバタしています。書いて、考えるのです。そうしないと一人で、できるようになりません。

考え・考え、書いて・書いて、ひとりで、できるようになって、初めて、自分のできた問題になり、テストでは、一人で解くことができ、高得点が取れるのです。

今回の期末テストで、目標の点数が取れなかった子は、自分の勉強の仕方を考え直してください。

ここまで読めば、何が足りなかったかが、わかるはずです。

さあ、今から足りなかった勉強法に取り組みましょう。

さあ、ここからが、**テストで点数が取れるようになる勉強法**です。

自分で考えてみる、理解しやすくするために、あれやこれや、書いてみる。そして、問題を声に出して読んでみる。

あきらめない!

成長過程の小、中学生のみなさんには、限界はありません。

アイルトン・セナは言っていました。

「限界は超えるもの」　「限界」とは言い訳です。

大谷翔平も次にように言っています。

「無理だと思わないことが一番大事」

「無理だと思ったら終わりです。」　「無理」とは言い訳です。

しかし、どうしてもわからない、納得できないことが出てきたら、先生や友達、AIに聞いてもいいです。納得できたら、今度は自分一人でそれを再現してみることです。この「再現」が重要です。

自分一人で、できるようになって初めて、脳内ホルモンが分泌され、ゲームでなく、勉強にハマりこみ、限界を超え、勉強ができるようになります。

わからなかった問題がわかるようになり、それが解ければ、気持ちいいものです。この快感を味わってください。

「心ひとつで　限界なんて　ないんだよ」塾のボードにあります。

テストの正しい活用法！

中学生のみなさんは８・９月に前期期末テストがありました。今回のテストは中間テストに比べ平均点が下がりました。しかし、平均点が下がったにもかかわらず、驚くほど点数を伸ばしてくれた子もいます。

次のテストで自己ベストの点数が取れる正しい勉強法について、ご紹介します。

小学生のみなさんも必読です。小学生のときこそ基礎学力と正しい勉強法を身につけるべきです。それを身につければ、中学では上位の点数を楽に取ることができます。これは教育関係者が皆言っています。現在の中学生の姿に顕著に表れています。

テストは、結果は大切ですが、自分の理解度をはかる一番のツールとして、終わってからどう活用するかが一番大切なのです。間違った箇所を見直して、なぜ間違えたのかを考え、繰り返し練習し、二度と同じ間違いをしないことが大切なのです。やり直しを必ずして、保護者の方も確認してください。また、見直す際、特に暗記が中心になってくる理科・社会は、教科書でその問題の箇所を見直すと、その内容の授業が記憶によみがえり、覚え直すことが容易になります。

算数（数学）などの計算問題などでは、間違えた問題を見直しもせず、もう一度最初からやり直すと、また同じ間違いをしてしまいます。これでは時間の無駄です。できる子は、必ずこの見直しをして間違えた原因を突き止めます。また、間違った問題だけをノートに書き写し、自分の苦手な箇所だけを集めたオリジナルの問題集を作り、もう一度やっている子もいます。

小学生のうちは保護者の方が主導でやる必要があると思います。中学生は学校の宿題の自主勉として活用し、定期テスト前にもう一度やってみるとよいでしょう。

中学生のみなさんが、期末テストの結果と答案を持ってきてくれました。答案を見るとその子その子の理解度や、問題の解き方、答案の書き方がよくわかります。その子たちの性格に合った指導に役立てることができます。

高校入試は、特別な問題ではありません。これまでに習った内容のテストなのです。

１０月の予定

全県模試　１１日（日）　会場　歴史未来館
スポーツの日　１２日（月）塾の授業を行います
中学３年生入試対策講座　３・１０・２４・３１日（土）
１３時３０分～１７時
１０月２４・２５日　定期テスト対策（後日連絡します）
１１月６日（金）漢字検定（実施時間は個別に連絡します）